

2012 年 4 月 18 日
株式会社みずほコーポレート銀行
株式会社みずほ銀行

インド共和国カルナタカ州投資庁との業務協力覚書締結について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤 康博）と株式会社みずほ銀行（頭取：塚本 隆史）（以下、両行）は、本日、インド共和国カルナタカ州投資庁（Karnataka Udyog Mitra、以下KUM）との間で日系企業進出支援に関する業務協力覚書に調印いたしました。KUMとの業務協力覚書締結は、邦銀では初めてとなります。インドにおける同様の覚書締結は、グジャラート州工業開発局（iNDEXTb。2009年11月）、タミル・ナドゥ州の産業・貿易促進局（GUIDANCE BUREAU。2010年2月）に続き3件目となります。

1. 業務協力覚書の骨子
 - (1) 日系企業進出、誘致に関する相互協力
 - (2) 中小企業を含む日系企業相談会等の共催
 - (3) 日系企業に対するインド側パートナーの選定、諸手続のサポート
2. 覚書締結の狙い
 - (1) KUM は、インドのカルナタカ州政府の主要機関で、投資促進およびカルナタカ州での事業展開支援を担っています。外国企業の投資申請にかかる受付・相談、許認可申請受付・アドバイス等の役割を担っており、同州への投資を検討する場合の窓口となる州政府機関です。
 - (2) 昨今、日系企業のインド進出が拡大する中で、両行は担当州政府機関である KUM との情報交換を通じて、インド（特にカルナタカ州）に進出を検討する日系企業へ有益な投資情報の提供・サポート体制の充実を図るものです。
 - (3) 両行の顧客基盤やグローバルネットワーク、並びに KUM の専門的なアドバイス、サポート体制等お互いの強みを活かした相互協力を通じ、日系企業の投資の促進を図ってまいります。

（参考）カルナタカ州の概要

カルナタカ州（州都：バンガロール）は、IT・エレクトロニクス産業をはじめ、宇宙航空産業、自動車産業等各種産業が発達したインドの南西部の州。州都バンガロールは、ムンバイ、デリー、コルカタ、チェンナイに続くインド第5の大都市である。「インドのシリコンバレー」と呼ばれる世界有数の IT・エレクトロニクス産業の集積地で、インド国内の IT 企業が多数所在するほか、日系企業、外資系企業も数多く進出している。近年ではバイオ産業・BPO 業等の集積も進んでおり、更なる発展が期待されている。

今後、工業団地開発やチェンナイ-バンガロール間の道路の整備拡張等、更なるインフラ整備・開発が見込まれている。

以 上